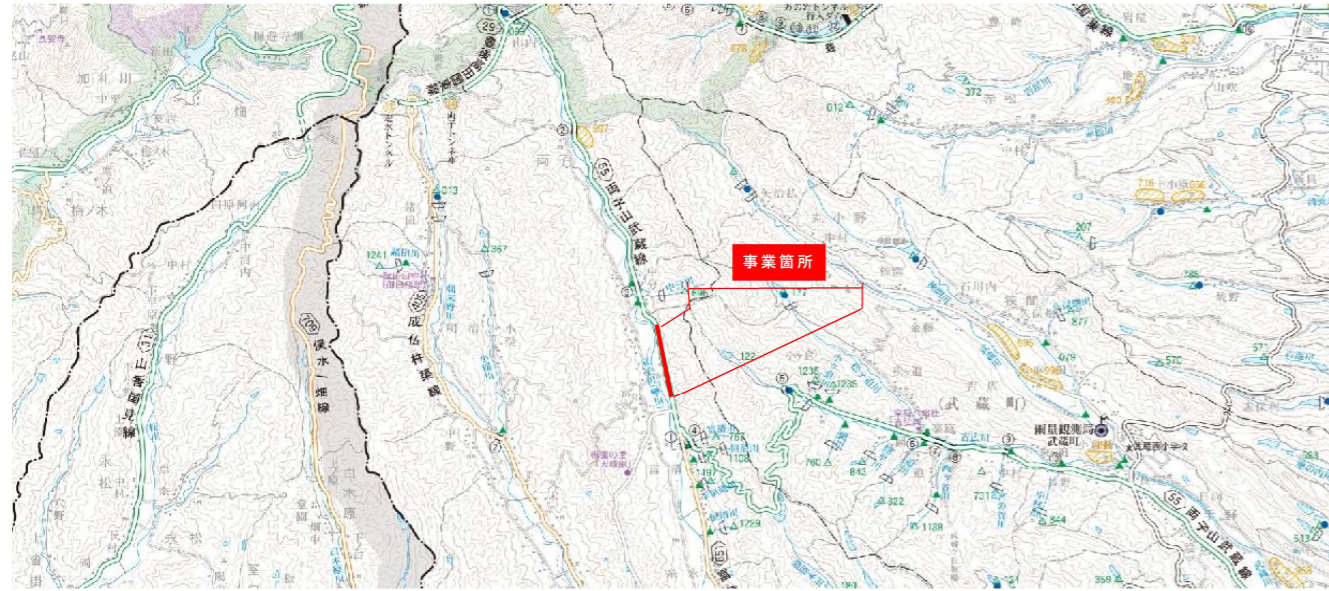
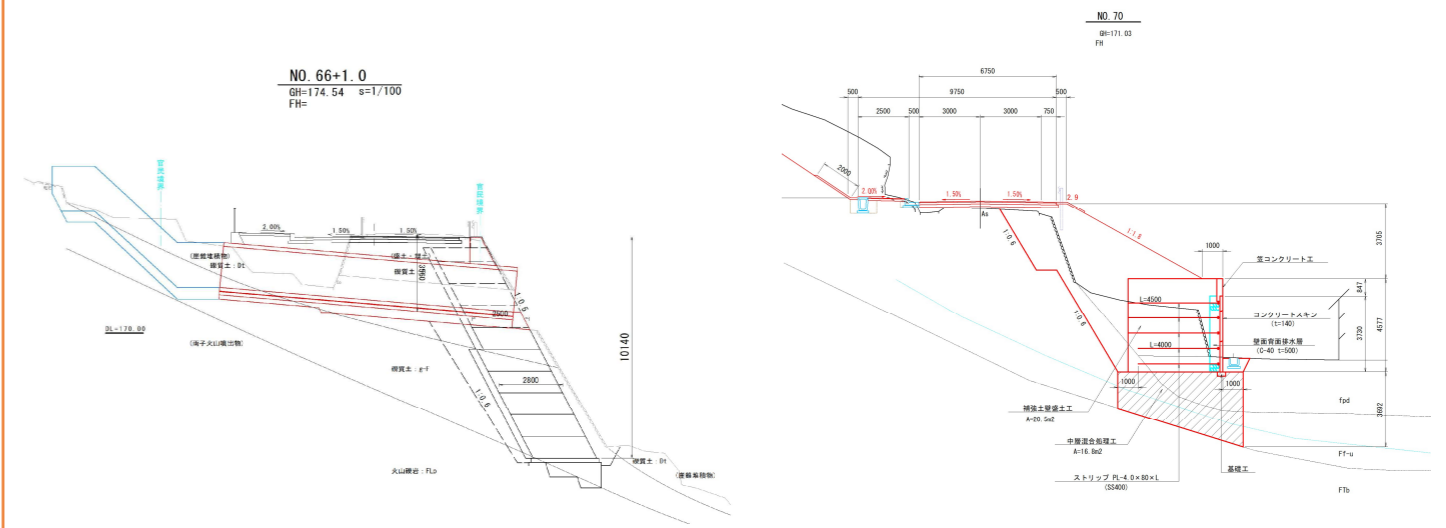


位置図



標準断面図



現地条件・課題(施工上の制約、設計のコントロールポイント等)

- 起点・終点、現況道路中心線と法線一致
- 道路拡幅に伴う構造物(大型ブロック)設置⇒現道からの施工
- 地質条件:軟弱地盤確認⇒地盤改良必要、施工ヤードの確保
- 現道幅員狭小(W=4.3~5.0m) ⇒全面通行止(仮設防護柵、補強土壁、大型ブロック、函渠設置時)
- コントロールポイント:家屋他

施工者からの意見および対応方針

○改善事項

- 大型ブロックの施工図は重機の足元を掘削してしまうものになっているためもっと重機を控える必要がある。それに伴い施工ヤードを1~2m程度は下げないと床掘ができない。
→大型ブロックの床掘ラインを避けた位置で基礎部の床掘が可能な位置まで施工ヤードの高さを修正する。
- 函渠設置時のクレーンが大型土のうに近すぎる。影響範囲として45°の離隔が必要。
→現道からではなく、大型ブロック施工時の施工ヤードと工事用道路を利用したの施工を検討する。

○確認事項

- 通行止めをしても問題ないように迂回路を整備してはどうか。
→迂回路全線の整備はしない。ピンポイントでの離合所設置や借地をして整備は行う。
- 伐採、伐根の時は通行止めをしてもらいたい。
→現道は樹木が覆いかぶさっているため通行止めによる伐採、伐根を検討する。
- 観光バスへの対応をする必要がある。特に秋頃。(梅園の里⇄両子寺)
→バス会社等に連絡・確認を行い、施工時期を検討する。

設計条件

- 道路区分:第3種第3級 設計速度:V=40km/h
- 計画幅員:W=9.75m (車道 3.00m, 路肩 0.75m・0.50m, 歩道 2.50m)

平面図

